

災害に備えた備蓄品の充実

目標金額 300万円

最小寄附額は10万円となります。
なお、目標額に達し次第、募集を終了
させていただきます場合がございます。

関連するSDGs目標

13

気候変動に
具体的な対策を



プロジェクト概要

武雄市は令和元年、令和3年と大雨による災害に見舞われ、令和元年は1,067名、令和3年は901名の方が、避難所へ避難されました。

被災者の中には1か月以上も避難所生活を強いられた方もおり、避難所の環境改善、充実が必要と感じました。

そこで武雄市では、避難所の充実を図るため、災害に備えた備蓄品及び資機材の計画的確保に努めています。

寄附金の使い道

- ・備蓄品の購入
高齢者・乳児向け保存食、育児用調整粉乳、生理用品、飲料水等
- ・資機材の購入
発電機、ブルーシート、避難所用救急セット車イス等
- ・感染症対策備品の購入
段ボールベッド、間仕切り等

メッセージ

備蓄品を充実させることで、幼児から高齢者まで、加えて、支援が必要な方の避難が可能となります。

また、長期の避難生活を強いられた時や、大災害により大勢の被災者が避難された場合の安心にも繋がります。

未知なる災害に備え、皆様のあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

